

新たな息吹 SINCE2007



さわの里だより



横浜市立さわの里小学校 学校だより

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sawanosato>

7月号

つながる つながる

校長 倉本 恵

正門で出会うさわの里小の子どもたちの元気な挨拶に加え、浜中学校の生徒さんたちの挨拶や小学生との微笑ましい関わりに癒される朝が続いています。

6月は本校の子どもたちを支えてくださっている方々とのいろいろな会合ありました。4月に着任した私にとっては、初めましての会合でしたが子どもたちのことを以前からよく知ってくださっている方々がたくさんいらっしゃり、みなさんがとても前向きに学校に関わってくださっているさわの里の地域の力を、実感しました。

今回は、その中から「学校運営協議会」と「学援隊リーダー会議」についてお知らせします。

令和6年度 第1回学校運営協議会（6月3日開催）

○学校運営協議会とは、地域・保護者の皆さんと学校が目標を共有し、一定の権限と責任をもって学校運営に参画する仕組みです。また、協議会と地域学校協働活動との一体的推進により、横浜の子どもたちの育成を目指します。（と、説明を書き出すと、この限られたスペースで端的にすてきな仕組みだということが伝わらないことが懸念されるので、ぜひ、右のQRコードから教育委員会からのわかりやすい説明をご覧ください。） →

<第1部>

教育委員会による委員委嘱の後、学校側から今年度の経営方針の説明を行い、地域学校協働本部委員からのコロナ流行以前に旧磯子高校の生徒と本校児童の学習会が行われていたという話題を切り口に、これからの協議会の役割の見通しをもつことができました。

<第2部>

生活科と総合的な学習の時間を核に、人、もの、ことと関わり、豊かな体験からの学びを実現するために、各学年担任が、今年度の方向性をプレゼンテーションしました。それに対して委員の方々がそれぞれの立場で、まちとつながる具体的な手立てを提示してくださったり、「どのような学びの結びを担当が描けるかが大事」「手伝えることは手伝いたい」という後押しをしてくださったりと有意義な時間となりました。

令和6年度 第1回学援隊リーダー会議（6月22日開催）

○2001年6月8日に大阪の小学校で起きた不審者侵入事件を契機に、上中里地区と氷取沢地区での児童の見守り活動が始まり、現在に至っています（詳しくは本校職員室前に掲示物がありますので、ぜひご覧ください）

今年度はリーダー会議の前に、全校テレビ放送で田中さんと鶴田さんからお話をいただきました。新年度が始まって3ヶ月。緊張もゆるみ暑さも加わってきたこの時期にお二人からのお話をもとに、子どもたちが安全な登下校への意識を高めるきっかけになってほしいと思います。

リーダー会議には、PTA役員の方々も出席し、登下校についての情報交換を行い、学援隊の方々に日ごろの活動への感謝を伝えました。

下校時に通学路から外れて休憩したり遊んだりしている様子や、それを学援隊の方が注意したり地域の方に謝ったりしてくださっていることを伺いました。

それでも、「子どもたちの挨拶から元気をもらっている」「子どもはまちの宝」と活動を続けてくださっている方々に、改めて感謝する日となりました。



このつながりを当たり前と思わず、まちの方々や保護者の皆様のお力添えをいただきながら、学校運営や地域連携をさらに進めていきます。

6月までに4年生以上の宿泊学習が終了しました。私は4年と6年の引率、5年は夕方の時間帯に参加しました。どの学年も笑顔と思いやりとあいさつにあふれる素敵な姿をたくさん見ることができ、ますますさわ小の子どもたちが大好きになりました！素敵な子どもたちに育ててくださっている保護者の皆様、地域の皆様に感謝です！！

7月もよろしくお願ひします。